

令和3年10月13日

会員各位

公益社団法人奈良県柔道整復師会
会長 川口 貴弘

県内クラスターについて（情報提供）

前略失礼いたします。

デルタ株と呼ばれる第5波は終息に向かい、緊急事態宣言も解除となりました。会員の先生方におかれましては、この後も油断せず感染予防にお努めください。以下、10月3日の毎日新聞社配信の情報をご覧ください。

草々

新型コロナ：新型コロナ クラスター計100件に 県内、4分の1が福祉施設 /奈良

新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）の発生件数が県内で計100件に達した。発生場所では、福祉施設が全体の4分の1を占め、飲食店と学校が続いている。直近の感染者ではクラスターで感染した人の割合が増えており、県はマスクの着用や密集を避けるなど基本的な感染対策の徹底を呼びかけている。

【久保聡】

県によると、1日までに県内で発生したクラスターは100件で、場所別では▽福祉施設25件▽飲食店と学校各15件▽事業所12件▽医療機関11件▽子育て施設9件▽行政機関6件▽その他7件——となっている。100件目は香芝市内の飲食店で、9月24日に20代女性客の感染が確認され、29日までに他の客6人と経営者2人、従業員2人の感染が判明した。換気が悪い店内でのマスクなしでの飲食やカラオケなどで感染が拡大したと推定される。

8月22日～9月24日の新規感染者で感染経路が判明した患者を集計したところ、クラスターで感染した人の割合は9月5日までは全体の7%だったが、6～24日では17%と上昇。6～15日には公立小学校で児童7人が感染し、クラスターと認定された。

県は最近のクラスターについて「換気が十分でない狭い空間で、複数人がマスクを外して会話したことなどが感染拡大の原因」と分析。ワクチン接種が進み、感染者数が減少傾向にあっても気を緩めず「マスクの着用や『3密』をつくらないといった基本的な感染対策を改めて徹底してほしい」としている。